

# ながはま 社協だより

Nagahama City  
Social Welfare  
Council

2026.3.1

# 79

号



社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会  
〒 529-0341 滋賀県長浜市湖北町速水 2745  
長浜市役所湖北支所 3階  
TEL.0749-78-8294 FAX.0749-78-8800



ホームページ



Facebook



YouTube



Instagram

表紙写真：ながはま市民協働センター × 長浜市社会福祉協議会



特集ページ1

地域の力をつなぎ、支え合いの輪を広げる  
ながはま市民協働センター × 長浜市社会福祉協議会

特集ページ2

地域で支え合う防災・減災の取り組みについて



この広報紙は赤い羽根共同募金の配分金で作られています。

# 地域の力をつなぎ、支え合いの輪を広げる ながはま市民協働センター × 長浜市社会福祉協議会

特集  
1



## 「ながはま市民協働センター」とは？

「ながはま市民協働センター」は、市民活動やボランティア活動を応援する相談窓口です。

「やってみたい」という気持ちがあれば、どなたでも相談できます。

ボランティアを始めたい、仲間を見つけたい、団体をつくりたい、はじめの一步から活動を続けるコツを知りたい、イベントや講座を開催したい——一人ひとりのこうした思いに、職員が寄り添いながら、活動のスタートから継続をサポートしています。

市民活動を続けていると、悩みや困りごとが出てきます。

そんな時、一緒に考え伴走してくれるのが「ながはま市民協働センター」です。

## 連携に込めた思い

社協は、高齢者支援や見守り活動、子ども・しょうがい・災害支援など、地域の暮らしを支えるさまざまな活動に取り組んでいます。これらの活動は、多くの地域のみなさんと共に進めてきたものであり、その中で「何かしたい気持ちはあるけれど、どう関わればよいかかわからない」という声も聞かれるようになってきました。

そこで、地域のみなさんの思いが活動につながるよう支えてきたながはま市民協働センターと地域福祉を担う社協が連携し、行政と民間それぞれの立場を活かしながら、地域の活動を支える仕組みづくりを進めています。こうした連携をとおして、地域の課題解決に向けた新たな可能性も、少しずつ広がっています。

## 相談を受け止める 現場から



——どんな相談が多いですか？

ながはま市民協働センター 所長 安藤さん

「活動を広く知ってもらいたい」「一緒に活動してくれる人を見つけたい」「助成金など資金調達をしたい」など、日ごろの活動で生じるちょっとしたお悩みや困りごとが多いです。

長浜市社会福祉協議会 地域福祉コーディネーター 須藤

市民活動や地域づくり活動に取り組まれている中での困りごとから、「何か始めてみたいけれど、何から手をつけてよいかかわからない」といったご相談まで内容は様々です。

## 連携がもたらした広がり

相談につながるきっかけが生まれ、これまで関わりのなかった方が活動に参加する動きも見られるようになってきました。こうした流れの中で、団体同士が顔の見える関係を築くことで、連携をきっかけとした新たな取り組みが、少しずつ動き出しています。

また、地域の困りごとについて、地域のみなさんと一緒に考え、取り組む機会も広がりつつあります。伴走支援をとおして、活動を無理なく続けられる基盤が育まれ、小さな実践が次の動きへとつながっていく様子も感じられるようになってきました。

こうした積み重ねをとおして、地域が少しずつ変化していく手応えを感じる場面も増えてきました。



——相談を受けるうえで大切にしていることは？

安藤：解決の糸口は相談者自身が持っておられます。相談内容をホワイトボードに書き出して整理し、その人自身の力を引き出すことを大事にしています。

「話す＋質問されて考える＋視覚化する」をすると、次のアクションが見つかることが多いです。

須藤：雑談をとおして会話を重ねるうちにヒントが見つかり、相談に来られた方が何か一つでも持ち帰れるように心がけています。

## 私たちが目指す地域のかたち

私たちが共に目指しているのは、「誰もが安心して暮らせる長浜」と「助け合いの輪が広がる地域」です。その実現に向けて、ながはま市民協働センターと社協は、個人や団体、地域のみなさん同士をつなぎながら、地域の課題を一緒に考え、誰かの小さな一歩が、その人らしい形で地域の中に息づいていくように、環境づくりを進めています。

ながはま市民協働センターと社協は、さまざまな事業を通して連携しています。代表的な取り組みをご紹介します。



## ながはま市民協働センター × 社協 連携事業一覧

事業名	事業内容
相談と雑談の間ワークスペース	“雑談”以上“相談”未満などちょっとした相談がしやすい場所として、月に2回開催しています。相談がなくても共同で仕事ができるコワーキングスペースです。
+カ <sup>3</sup> チカラキュービック	支援を希望する団体に対して2か月に1回程度の定期的な相談の機会を設け、運営面も含めた支援を行います。
みんな・なが定例記者発表	地域活動や市民活動などに取り組む方の思いや活動を、メディアを通して発信する記者発表の場です。
どうする！？大相談会	複数の相談先が連携し、暮らしの困りごとをまとめて相談できる機会です。
学びの4レンチャン	活動をするためのヒントやテーマに応じて、学びを深める連続講座です。
みんなでつながる広場	ジャンルや境界を越え、“新しいつながりから新しいもの”が生まれる機会づくりをめざす交流の場です。
子どものサポート4ステップ	子どもを支える活動やボランティアを学ぶ大人のステップアップ講座です。
みんなでつなげる編みものアート	みんなで編んだ作品をつなぎ、編み物で人とまちをあたたく彩る取り組みです。

## ——市民のみなさんへメッセージ

安藤：市民活動というとハードルが高そうですが、その一歩は誰かのために何かしたいという想いです。小さな一歩から何が生まれるのか、誰にもわからない“わくわく”を、みんなで共有できるまちを一緒につくっていきましょう！

須藤：「相談と雑談の間ワークスペース」では、みなさんの心の中にあるモヤモヤと一緒に紐解くお手伝いをしています。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

## これからも地域とともに

長浜市には、地域をより良くしたいというたくさんの思いがあります。その思いをつなぎ、形にしていくために、私たちはこれからも、ながはま市民協働センターをはじめ、地域のさまざまな機関と連携しながら、一人ひとりの思いに寄り添っていきます。

困りごとがある方も、地域で何か始めたいと思っている方も、どうぞお気軽にお立ち寄りください。

みなさんの声が地域をより良くする一歩になります。あなたの“やってみたい”が、長浜市の未来をつくれます。



## 相談をきっかけに動き出した活動者の声

戦争体験を語り継ぐ会 代表 河毛さん

Q. 相談したことで、何が変わりましたか？

活動への思いはあったものの、何をどう進めればよいのか分からず悩んでいました。チカラキュービックのチラシを見て「とりあえず行ってみよう」と相談したことで、話をしながら方向性が見えてきました。助成金のごとも初めて知り、支援を受けたことで活動の幅が広がり、やりたいことが具体的に思い描けるようになりました。

Q. チカラキュービックを利用して感じたことは？

お金がないからできないと思っていたことも、支援を受けることで現実的に考えられるようになり、夢が膨らみました。相談することで、一人では気づけなかった選択肢が見えてきたと感じています。



# 防災・減災の 取り組みについて



近年、地震や豪雨、大雪などの自然災害が全国各地で頻発しており、その発生時期や規模は年々予測が難しくなっています。災害は、ある日突然、私たちの暮らしや命に大きな影響を及ぼします。被害を少しでも減らすためには、日頃からの備えと、地域全体での支え合いが欠かせません。

長浜市は、全国的に見ると比較的的自然災害が少ない地域といわれています。

そのため、「これまで大きな災害がなかった」「自分の地域は大丈夫」という意識が生まれやすく、防災への関心が高まりにくい側面もあります。しかし、災害はいつ、どこで起こるか分かりません。日常が続いている「今」だからこそ、地域で防災・減災について考え、備えを進めることが大切な時間となります。

● 昨年のお大雪の際には、地域のつながりが大きな力を発揮しました。急激な降雪により、生活に支障が出る世帯が多く見られましたが、地域内で声を掛け合い、困りごとや支援が必要な世帯を早期に把握することができました。その結果、高齢世帯を中心に雪かきのワークキャンプ（作業支援）を行い、日常生活を支える取り組みにつなげることができました。

このような支援が実現した背景には、日頃から地域の中であいさつや声かけを行い、顔の見える関係づくりが進められていたことがあります。高齢者世帯や一人暮らし世帯が増えている今、平常時からの見守りや助け合いが、災害時の迅速な対応につながっています。

● 現在、長浜市内の各地域では、日常の中で防災・減災の意識を高めていこうとする取り組みが広がっています。災害の現状や地域の特性を知る講座の開催や、避難所運営を想定した訓練、防災体験など、実際に体験しながら学ぶ場づくりが進められています。こうした取り組みを通じて、「知っているだけの防災」から「いざという時に行動できる防災」へと意識を高めていくことが期待されています。また、これらの場合は、防災を学ぶと同時に、地域の人同士が交流し、つながりを深める貴重な機会にもなっています。



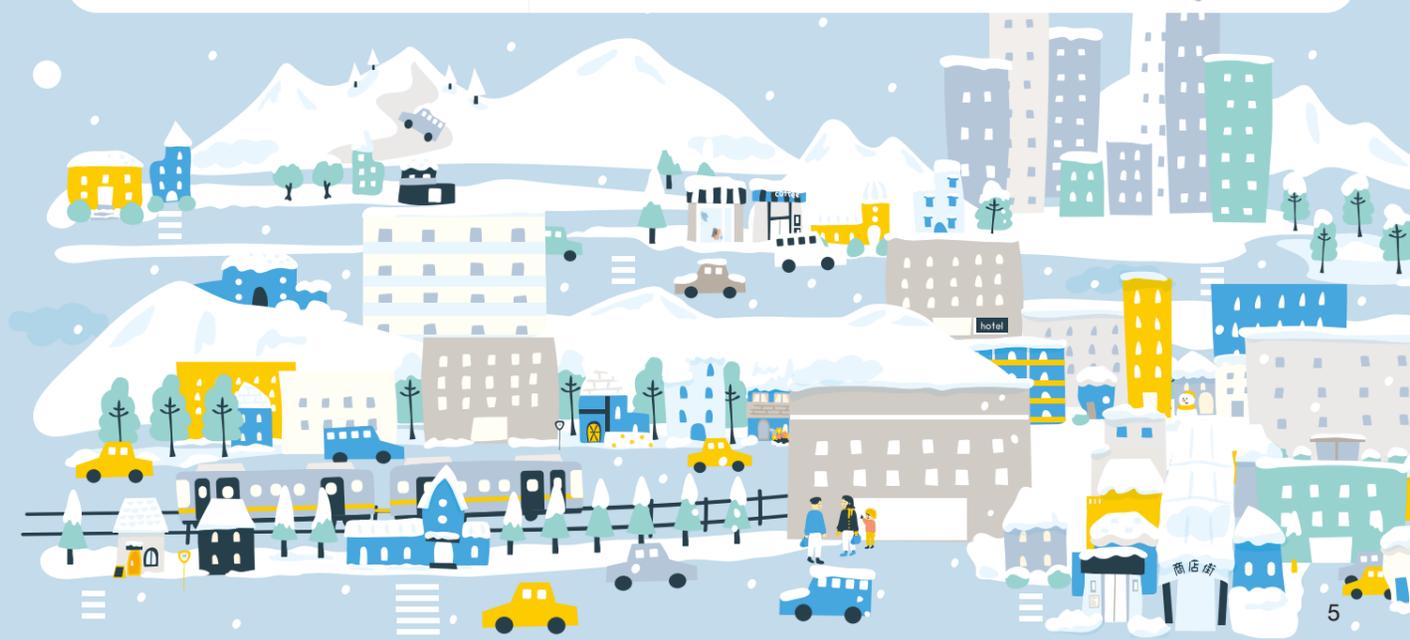
# 防災 減災

さらに、地域には防災士の資格を持つ方が多くおられます。防災士は、平常時には地域で防災意識を高める活動を行い、災害が発生した際には地域の防災リーダーとして行動する役割を担っています。研修会や交流の機会を通じて、防災士同士、そして地域住民とのつながりを深めることで、「困ったときに相談できる人がいる」「いざという時に頼れる人がいる」という安心感が、地域全体に広がっています。

防災・減災は、特別な人だけが担うものではありません。「出来る人が、出来る時に、出来ることをする」という意識が、地域の支え合いを育てていきます。日頃の声かけや見守り、ちょっとした助け合いの積み重ねが、非常時には大きな力となります。



これからも、人と人のつながりを大切にしながら、  
地域全体で支え合う防災・減災の取り組みを進めていきましょう。



## “体験学習”に取り組んでみませんか？

車いすや高齢者等の体験と聞くと、小学校や中学校の福祉教育の一つと思われがちです。自治会の避難訓練や研修会、企業の研修会など様々な場面で、“体験”をとおして「学び」「気づき」「考え」「思いやりや助け合う心」の発見につながりませんか？

### 車いす体験

車いす体験をとおして、住みやすい地域のあり方や、実際に利用している方の気持ちについて考えるきっかけをつくります。

また避難訓練の中で、車いす利用者への介助方法を体験し、実際に車いすに乗ることで、普段とは異なる視点や見え方を体感します。



#### 体験例

1. 車いすの使い方のレクチャー
2. お住まいの自治会を車いすで移動してみる
3. 振り返り

#### 例えば

#### その他にも・・・



視覚しょうがい（アイマスク）体験や防災に関する出前講座なども承っております。

興味・関心をお持ちの方は、下記のお問合せ先までお気軽にご連絡ください。

人数やご要望に応じて、内容等は柔軟に対応いたします。

#### お問合せ

地域福祉課 TEL 0749-62-1804



## 簡単！ フレイル予防レシピ

伊香の里  
管理栄養士の

### ホタテとアスパラガスの バター醤油炒め

約90kcal

たんぱく質 9.3g / 人



※写真はイメージです

ホタテは高タンパク、低カロリーだけでなく、ビタミン、ミネラルも豊富です。

アスパラガスにはその名も“アスパラギン酸”という栄養素が含まれており、疲労回復、スタミナ増強の効果が期待できます。バターで炒めることで、ビタミン類の吸収率もUPしますよ！

- 1 アスパラガスは根元の硬い部分をピーラーでむき、斜めに薄切りにします。
- 2 ホタテは分厚いものは横半分に切っておきます。
- 3 フライパンにバターを熱し、先にアスパラガスを炒めます。
- 4 軽く火が通ったらホタテを入れ両面に焼き色がつくまで返しなが炒めます。
- 5 塩コショウ、醤油で味を調えたら完成です。

フレイル予防には良質なたんぱく質をしっかりと摂ることがポイントです。今回は旬のアスパラガスとホタテを使ったちょっぴり贅沢な1品を紹介します。

#### 材料（2人前）

- ホタテ（刺身用）…………… 100g  
（ベビーホタテなどひも付きでもおいしいです）
- アスパラガス…………… 4本
- バター…………… 10g
- 塩コショウ…………… 少々
- 醤油…………… 大さじ1/2

※食事内容に制限がある人は主治医の指示に従ってください

安心の選択肢が地域に！

### 社会福祉法人 近江幸楽会「まほろば」

が日中の「一時お預かり」サービスを開始

社会福祉法人近江幸楽会「まほろば」が、医療的なお手伝いが必要な重いしょうがいのある方を対象とした、日中の「一時お預かり」サービスを始めました。



これまで、医療的なお手伝いが必要な方々の一時お預かりは、できる場所が限られており、ご本人・ご家族が安心して休める場所を見つけることが難しい状況でした。しかし、看護師さんがいつもいる療養通所介護「まほろば」が、このサービスを行うことで、ご本人・ご家族も心にゆとりを持って過ごせるようになります。

さらに、「まほろば」は、災害時に強い非常電源を設置している事業所でもあります。もしもの時にも医療的ケアを必要とする方々が安心して過ごせる環境が整っていることは、この地域にとって大きな安心につながります。

「ご本人・ご家族が安心して休める時間を提供したい」と語る、「まほろば」の管理者廣岡さん。取材中、明るく広々とした場所で、スタッフの方々が利用者一人ひとりと優しく向き合っている姿がとても印象的でした。

今回のサービス開始が、ご本人・ご家族の方々の毎日をより豊かにし、多くの方々にとって、暮らしの中の「安心」につながることを願ってやみません。「まほろば」の新しい取り組みに期待が膨らみます。



社会福祉法人 近江幸楽会 療養通所介護

### 『まほろば』

〒526-0044

長浜市下坂中町200-1 TEL:0749-68-4000

### コラム 第7回

## 福祉って何だろう



「福祉」って言葉(というか、熟語?)、難しいですね。日常会話ではほぼ使わないし…。ネットで検索してみると、障がい・介護という関連用語が一番にヒット。福祉士認定講座の案内の次には、「生まれながらにある基本的な権利を…」という難しい文言が並びます。

「誰か教えて～!!」っていう転職サイトのCMみたいな気分。

もっと身近に感じてほしいって社協さんはいうけれど、社会福祉協議会って名前そのものが、一番のハードルかもしれない(仕方ないけど…笑)。自分は今困ってないし、まだ若いし元気だし…と思ってる方に、福祉という言葉への親近感を持ってもらうには、倫理的・将来的とかいう言葉のアプローチでは届きにくいです。

### 栗木 剛 (くりき つよし)

motto ひょうご 事務局長  
神戸大学教育学部卒業  
(現 国際人間科学部)  
「楽しくなくっちゃ 講演会  
じゃない!」をメインテーマに  
研修・講演を行っている、人の心をほんわかほぐす舌耕  
(せっこう) 家。趣味は歩き回る。座右の銘は「曲がり  
道は曲がってしまえ」



そんな私は、駅の誰もいない公衆トイレでも、一番奥のスペースで用を足しています。そうすれば、『も、漏れそう…』って飛び込んできた方の少しでも助けになるかと思ってる。

こんなちっぽけなことは、役割でもボランティアでも、もちろん制度でもありませんが、そんな些細なことが福祉のベース・スタートラインへの気づきのような気がするのです。

自分がしてもらったら嬉しいことを、自分が先にやる。そんな未知なる他者への想像力こそ福祉へのカギかも…。



豊かな森林と清らかな水、長い歴史と文化が息づく木之本の地で、伊香高校は前身校からの歩みを含め、創立 129 年を迎えました。2025 年 4 月には新たに「森の探究科」が新設され、「森で学ぶ」「地域とつながる」をコンセプトに、教室の外へと学びの場を広げています。

森の探究科では、地域資源や環境、そこから生じる課題を題材に生徒自身が考え、行動する学びを重視しています。その象徴的な取り組みの一つが、「きのこ子ども食堂」との連携です。きっかけは、地理の授業で行った地域課題探究でした。生徒たちは、自分の関心や将来の夢と地域課題を掛け合わせて解決策を考える中で、「子どもが好き」という思いと「獣害」という課題を結びつけました。当初は学校給食へのジビエ導入も検討されましたが、より実現しやすい方法として、子ども食堂でジビエ料理を提供する取り組みが、獣害について伝える企画へと広がり、令和 7 年 7 月に実現しました。

当日は、生徒たちが子ども食堂のボランティアさんと一緒に調理し、受付や配膳、子どもたちの宿題の手伝い、一緒に遊ぶなどそれぞれの得意を生かして役割を担いました。生徒たちはとても楽しかったようで、学校とは異なる表情で年下の子どもたちに寄り添う姿が見られました。地域の中で役割をもつ経験が、生徒の自己有用感や自己効力感を高める機会となり、7 月以降も子ども食堂への参加が続いています。

また、この関わりは子ども食堂にとどまらず、「夕涼み横丁」や「地蔵縁日」など地域行事へも広がって

います。子ども食堂に参加する子どもたちが伊香高校の生徒の名前を呼び、親しげに話す姿を見られることもあります。高校生にとっては地域の一員として受け入れられている実感につながり、子どもたちにとっても「身近なお兄さん・お姉さん」との出会いになっています。

地域の場に生徒が関わることは、学校では得られない学びをもたらします。一方で、活動の主役は子どもたちであり、高校生の関わりが子どもたちにとって安心できる楽しい時間であることが大切にされています。地域の大人に見守られながら、世代を超えたつながりが少しずつ育まれています。

今後は、地域と生徒が出会える場づくりも構想されています。高校生カフェや朝市、地域行事への参加など、生徒自らが地域と関わる機会を生み出していただくと考えておられます。無理に広げるのではなく、小さな挑戦を積み重ねながら、地域への感謝を形にしていって伊香高校の学びは、これからも地域とともに続いていきます。



## 赤い羽根共同募金 ご協力ありがとうございました

昨年 10 月から実施しました『赤い羽根共同募金』には、自治会をはじめ多くの皆さまから募金をお寄せいただきました。この募金は、令和 8 年度の福祉活動の貴重な財源として使わせていただきます。皆さまのご協力を心よりお礼申し上げます。



総額 **5,935,425 円**

内訳	戸別募金	4,871,560 円	職域募金	252,579 円
	学校募金	108,893 円	法人募金	587,499 円
	街頭募金	17,341 円	その他募金	97,553 円

## 歳末たすけあい募金 ご協力ありがとうございました

昨年 11 月から実施しました『歳末たすけあい募金』には、自治会をはじめ多くの皆さまから募金をお寄せいただきました。この歳末たすけあい募金は、新しい年を迎える時期に支援を必要としている方々が地域で安心して暮らすことができるよう、年末に行いました様々な活動の財源として使わせていただきました。皆さまのご協力を心よりお礼申し上げます。



総額 **3,661,081 円**

内訳	戸別募金	3,519,928 円
	団体・個人募金	141,153 円

## 赤い羽根募金 / 歳末たすけあい募金 みなさまのご協力ありがとうございました！

(法人・団体等 順不同・敬称略)

KBセーレン(株) 長浜工場、SKメディカル電子(株)、姉川ブロック(有)、新木産業(株)、荒木電子工業(株)、医療法人 岩本整形外科、医療法人 千手会 中川医院、上松医院、内海建設(株)、内保製材(株)、エルナープリントドサーキット(株)、近江ベルベット(株)、大塚浩司税理士事務所、大野自動車工業(有)、オリエンタル酵母工業(株) 長浜生物科学研究所、神照 GGC、神照地区民生委員児童委員協議会、川一電機(株)、川上工務店、川北塗料(株)、川瀬産商(株)、北日本物産(株)長浜営業所、北びわこ農業協同組合、更生保護女性会 西浅井分区、小崎商会、小林自動車用品(有)、湖北精工(株)、湖北通運(株)、澤村建設(株)、滋賀運輸(株)、シガ電子(株)、滋賀日軽(株)、新栄工業(株)、セネファ(株)、せんねん灸(株)社員一同、高月地区民生委員児童委員協議会、鷹野機械(有)、高橋燃料店、田中ビジネスサポート(株)、田中ホールディングス(株)、東亜工業(株)、長浜検察審査協会、長浜市湖北赤十字奉仕団、長浜市虎姫赤十字奉仕団、長浜市びわこ赤十字奉仕団、長浜葬祭(有)、中萬商事(株)、日軽パネルシステム(株)滋賀工場、日本電気硝子(株) 滋賀高月事業場、扶桑工業(株)、兵神装備(株)滋賀事業所、本城税務会計事務所、前川医院、丸三ハシモト(株)、焼肉万歳三蔵、ヤンマーパワーテクノロジー(株)小形事業部、ヨコハマタイヤ滋賀販売(株)、よつば会、レーク伊吹農業協同組合、六友会 35、ワボウ電子(株)、(株)365- エステート、(株)アルファ工房、(株)伊吹機械、(株)伊吹モーターズ、(株)岩崎フローテック、(株)魚三、(株)エーテック、(株)オー・ケン、(株)カワセコーポレーション、(株)栗原、(株)グリーンフィールド奥琵琶湖、(株)滋賀親睦会、(株)清水商会、(株)大一保多屋、(株)ダイチュウ、(株)茶真商店、(株)鳥塚、(株)中田モーターズ、(株)長浜シャーリング工場、(株)橋本クロス、(株)藤田工業、(株)丸善エナジー、(株)丸万中尾、(株)明豊建設、(株)山久、(株)山利製作所、(株)渡辺工業、(有)アキュラ ダスキン十字屋、(有)油定商店、(有)伊藤商会、(有)小川自動車整備工場、(有)カープラザ・フジ、(有)こめ治、(有)清金醤油店、(有)高宮ビジネス、(有)瀧澤材木店、(有)千茂登、(有)辻種苗、(有)つるや、(有)中川ガス、(有)ナカリンオートサービス、(有)成駒家、(有)ヒコ・イン コーポレーション、(有)山近



インフォメーション

えんかふえ

～ひきこもりがちな若者  
学校に行きづらい子どもの居場所～

気楽に自由な時間を過ごせる居場所を開催しています。本を読んだり、ゲームをしたり、おしゃべりしたり、ぼーっとしたり…。ひとりで、親子で、友達と…、保護者だけの参加も大歓迎です！ぜひお越しください。

**日 時**：毎月第1・3木曜日  
(祝日の場合は休み) 13:30～16:30  
**会 場**：旧びわ福祉ステーション  
(長浜市社会福祉協議会びわセンター)  
長浜市難波町483  
**参 加 費**：無料  
**お 申 込 み**：不要 (当日会場にお越しください)  
**お 問 合 せ**：地域福祉課 長浜センター  
TEL:0749-62-1804

よろず相談

地域住民のみならず日常生活の中で抱える人権や財産、金銭貸借、家族問題等のご相談を人権擁護員・民生委員児童委員といった相談員がお受けし、助言や各関係機関への紹介を行います。秘密は厳守しますので、お気軽にご相談ください。予約は不要です。(先着順のため、相談中の場合はお待ちいただくことがあります。)

**会 場**：長浜市地域福祉センター  
(長浜市高田町12-34 さざなみタウンながはま文化福祉プラザ3階)  
専用電話 0749-63-4811  
毎週 月、火、水、金曜日 13:00～16:00  
毎週木曜日 10:00～12:00  
**会 場**：湖北福祉ステーション(長浜市湖北町速水1860)  
TEL 0749-78-2144  
毎月第4水曜日 10:00～12:00  
**会 場**：木之本福祉ステーション(長浜市木之本町千田53)  
TEL 0749-82-5419  
毎月第4木曜日 10:00～12:00  
\*来所が困難な方は、長浜市地域福祉センターの専用電話をご利用ください。  
\*湖北福祉ステーション、木之本福祉ステーションでは、祝祭日の場合、別日での開催となります。詳しくは各センターまでお問合せください。  
**お 問 合 せ**：相談支援課 長浜センター TEL:0749-57-6123

法律相談

弁護士がご相談をお受けします。完全予約となっておりますので、ご希望の2週間前までにご予約ください。

**日 時**：毎月第2,4木曜日 13:00～16:00  
(1件につき30分以内)  
**会 場**：長浜市地域福祉センター  
(長浜市高田町12-34 さざなみタウンながはま文化福祉プラザ3階)  
**対 象**：長浜市在住の方  
\*過去1年間にこの法律相談をご利用・キャンセルされた世帯の方はご利用できません。  
**お 問 合 せ・お 申 込 み**：相談支援課 長浜センター TEL:0749-57-6123

認知症サポーター養成講座

認知症について学びたい方、対応方法を知りたい方、どなたでもご参加いただけます。

ひとりで、親子で、気の合う友達と一緒に。お誘いあわせのうえぜひお越しください。  
**日 時**：令和8年4月1日(水) 13:30～15:00  
令和8年6月3日(水) 13:30～15:00  
**場 所**：長浜まちづくりセンター 会議室 2AB  
(長浜市高田町12-34 さざなみタウン内)  
**参 加 費**：無料  
**お 問 合 せ・お 申 込 み**：南長浜地域包括支援センター内  
長浜市認知症キャラバンメイトひなた  
TEL:0749-65-8352

着物をきっかけに、人と資源が世代を超えて繋がる『着物譲渡会』

タンスに眠る着物を次の世代へ。思い出とともに受け継ぐ“着物譲渡会”を開催します。傷みのある着物もお預かりします。

○お引き取りしているもの  
・着物・羽織・反物、一部分にシミや穴あき、裏地のシミがあるもの、紋付の喪服、羽織、素材については問いません。

×お引き取りしていないもの  
・全体にシミやカビ、穴あきがあるもの、浴衣、襦袢、和装小物全般

着物譲渡会開催スケジュール

**第10回** **日 時**：令和8年3月9日(月) 9:00～15:00  
**会 場**：余呉福祉ステーション(長浜市余呉町中之郷2434番地)  
**第11回** **日 時**：令和8年4月4日(土) 9:00～15:00  
**会 場**：木之本福祉ステーション(長浜市木之本町千田53番地)  
**第12回** **日 時**：令和8年4月24日(金) 9:00～15:00  
**会 場**：伊香の里(長浜市木之本町黒田1221番地)  
**第13回** **日 時**：令和8年5月13日(水) 9:00～15:00  
**会 場**：旧びわ福祉ステーション(長浜市難波町483番地)  
**第14回** **日 時**：日時：令和8年5月30日(土) 9:00～15:00  
**会 場**：さざなみタウン(長浜市高田町12-34番地)

\*予約優先となります。ご予約がない場合お待ちいただく場合がございます。  
\*譲渡お手続きの際には「譲渡承諾書」に記入をしていただきます。  
**お 問 合 せ・お 申 込 み**：地域福祉課 長浜センター TEL:0749-62-1804

長浜北部福祉ステーションの講座・教室のご案内

**対 象 者**：長浜市内の概ね60歳以上の方  
**場 所**：長浜北部福祉ステーション(長浜市神照町288-1)  
**お 申 込 み 方 法**：お電話でお申込みください。(定員になり次第受付終了)  
令和8年3月16日(月)から受付開始

■音楽で介護予防教室  
体と脳がよくなる音楽活動を気軽に楽しみ、いつまでも健康に

**日 時**：令和8年4月1日から開始  
毎月第1水曜日 10:00～11:30

**講 師**：イケダ光音堂  
**定 員**：25名  
**参 加 費**：250円/1回(保険料込み)

■ガーデニング講座 第1回 春の寄せ植え

**日 時**：令和8年4月24日(金) 10:00～12:30

**講 師**：沓水節夫さん  
**定 員**：15名  
**参 加 費**：1800円/1回(保険料込み)

\*この講座は、4回連続講座です。2回目以降の講座(7月・10月・12月)の詳細は、お問合せください。

**お 問 合 せ・お 申 込 み**：長浜北部福祉ステーション(長浜市神照町288-1)  
TEL:0749-65-8266

地元の繁栄に奉仕する長浜金融協議会

大垣共立銀行  
滋賀銀行  
長浜信用金庫  
京都銀行  
関西みらい銀行

レーク伊吹農業協同組合

琵琶湖と伊吹山に囲まれたJAレーク伊吹は  
人と自然と街を愛で優しく包みます。

〒521-0062 滋賀県東原市宇賀野280番地1  
TEL:0749-52-6520(内) https://www.ja-lakebuki.or.jp

令和6年能登半島地震災害義援金

令和6年能登半島地震災害義援金ご協力ありがとうございました。

令和7年10月22日～令和8年1月15日

(敬称略)

受付日	氏名	金額(円)
令和7年10月29日	七尾地区地域づくり協議会	8,120
令和7年12月4日	農事組合法人 夢農場森	30,000
令和7年12月18日	川崎町自治会	19,810
令和7年12月22日	横山 義淳	20,000
令和7年12月22日	久保 治美	3,000

令和7年台風第22号及び第23号災害義援金

令和7年台風第22号及び第23号災害義援金ご協力ありがとうございました。

令和7年10月22日～令和8年1月15日

(敬称略)

受付日	氏名	金額(円)
令和7年11月10日	匿名	10,000

令和6年9月能登半島大雨災害義援金

令和6年9月能登半島大雨災害義援金ご協力ありがとうございました。

令和7年10月22日～令和8年1月15日

(敬称略)

受付日	氏名	金額(円)
令和7年11月24日	湖北福祉の会	10,000

令和7年8月6日からの大雨災害義援金

令和7年8月6日からの大雨災害義援金ご協力ありがとうございました。

令和7年10月22日～令和8年1月15日

(敬称略)

受付日	氏名	金額(円)
令和7年11月25日	木之本福祉の会	4,385

お寄せいただいた義援金等は、日本赤十字社・共同募金会を通じて被災地等の支援に役立てられます。

お知らせ

次号「ながはま社協だより」は、7月に発行予定です。  
今後も、地域の福祉に関する情報をわかりやすくお伝えしてまいります。

善意銀行

令和7年10月18日～令和8年1月16日

金銭口座(敬称略)

氏名	金額(円)
藤田 治彦	2,000
昭和29年小谷小卒業生同窓会	4,070
永原仏教会	50,000
浅井グラウンドゴルフクラブ	16,600
高月町グラウンドゴルフ協会	20,000
金光教湖北教会 代表 井上宗一	30,246
なかざわ ほういち	50,000
三菱ケミカル労働組合 関西支部(長浜)	20,000
三菱ケミカル労働組合 関西支部(浅井)	20,000
長浜市高月赤十字奉仕団	150,000
匿名 2件	101,272
<b>合 計</b>	<b>464,188</b>

物品口座(敬称略)

氏名	物品
株式会社 みはまアグリ	お米(玄米30kg)×8袋
中川 利夫	米30kg、無洗米18kg
長浜ワイズメンズ	じゃがいも
JA北びわこ女性部	米411.6kg、食品、調味料など、日用品
JAレーク伊吹女性部	米105kg
長浜セレモニ－ 家族葬のウィズユ－	車いす、ポータブル電源
匿名 4件	精米、衣類、米30kg、くつ



# わたしの居場所づくり フォーラム

を開催しました。

地域での居場所づくりについて考える機会として、「わたしの居場所づくりフォーラム」を開催しました。

今回のフォーラムでは、NPO 法人 NOT 代表理事の長田英史氏を講師にお迎えし、「居場所づくりのはじめの一歩」をテーマにご講演いただきました。長田氏は、30年以上にわたり全国各地で居場所づくりに携わってこられた実践者であり、「居場所は特別な人がつくるものではなく、誰もが自分の『好き』や『得意』から始められるもの」と語られました。



講演では、立派な設備や完璧な計画がなくても、「誰かとつながりたい」という思いがあれば居場所は生まれること、無理をせず、小さく始めゆっくり育てていくことの大切さなど、具体的でわかりやすいお話をしてくださいました。

本フォーラムをきっかけに、4月から全4回の連続講座を開催予定です。  
講座では、居場所づくりについて段階的に学び、  
最終回には自分なりのプランを形にしていく内容となっています。



## 「4つのステップ講座」

第1回 令和8年 4月25日(土) 13:30～15:30

第2回 令和8年 5月 9日(土) 13:30～15:30

第3回 令和8年 5月23日(土) 13:30～15:30

第4回 令和8年 6月 6日(土) 13:30～16:30

\*先着12チーム(個人参加含む)

## ▶お申込み・お問合せ

地域福祉課 長浜センター TEL 0749-62-1804

社会福祉協議会では、これからも地域の皆さまとともに、誰もが安心して過ごせる居場所づくりを応援していきます。今後の取り組みにぜひご注目ください。



## 地域福祉と介護の質の向上に向けた研究の取り組み

本会では、地域福祉や介護の現場で得られた実践を振り返り、支援の質の向上につなげる研究活動に取り組んでいます。日々の支援の気づきや課題をテーマに、複数の職員が県内の研究大会や学会で研究発表を行い、その成果が評価され下記の賞を受賞しました。

研究や発表を通して得られた知見は、今後の介護や地域支援の質向上に活かされていきます。これからも、住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりに取り組んでまいります。



第14回 滋賀県老人福祉施設研究協議大会 奨励賞  
第43回 滋賀県社会福祉学会 奨励賞